

公表:令和 6年 4月 1日

事業所名 放課後等ディサービスこんばす

	チェック項目	はい	どちらとも いえをい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5				・必要に応じて設備の検討や活動場所の細分化が必要と考えています。
	② 職員の配置数は適切であるか	5				・利用定員に対して、基準を満たした職員数の配置をしています。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3		2	・車椅子を利用される児童が居る場合職員が2名で移動するなど利用者さんの負担をかけないような支援を行っている。 ・段差はあるが手すり等都度必要に応じて配慮されている。 ・一般宅をそのまま使用しているので玄関などバリアフリー化できればいいと思う。 ・手すりなどできる範囲内の配慮を行っている。	・ご利用前のご見学時の設備説明等を行っています。完全なバリアフリー化は建物の構造上困難な点もありますが、必要に応じた設備を検討していきます。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5				・打合せにて、利用児童の様子や具体的な支援方法の検討・改善等について話し合いを行っています。状況に合わせて会議も行っていきます。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5				・今後もアンケートの実施を行い、ご本人、保護者の皆様のご意見やご希望を確認していきます。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5				・アンケート実施後、HPに掲載していきます。又、お便りを毎月発行していきます。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	2	1	・わからない。 ・感染症の蔓延を考慮しなかなか実行できていない現状。 ・第三者による外部評価は行っていません。	・専門職員による研修や外部コンサルティングを受け、業務改善に努めていきます。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5				・計画に定めた研修を実施していきます。
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか	5				・保護者や関係機関との情報共有を図り計画書の作成を行います。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5				・Vineland 2だけではなく、他のツールを使用したアセスメントを実施していきます。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5				・担当者が取りまとめるが、職員間で相談しながら準備を行っている。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	1		・好評だった活動は繰り返し行う事はあるが少しずつ変えていったり変ったグループ等で利用者さんの様子見ることがある。	・児童の年齢や状況に応じたプログラム活動を立案実施していきます。
	適切な 支援の 提供	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5			
⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等ディサービス計画を作成しているか		5				・ご本人、保護者の皆様の意向や希望を汲み取りながら計画書の作成をしていきます。
⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		5				・支援に関して、職員が共通の認識をもち対応できるように引継ぎなどを含めた情報共有を行います。
⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		3	1	1	・支援終了後はなかなか難しいが次の打ち合わせなどで行ったりしている。 ・支援終了後ではなく翌日の打ち合わせで振り返り、気づいた点等を共有している。 ・LINEを使用するなど、出来得る限り努力している。	・職員間での情報共有を図り、【より良い支援】の提供を目指していきます。
⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		5				・支援の記録だけではなく、職員の支援や支援の課題の検証、改善が行えるように打合せや会議の場を設けていきます。
⑱ 定期的なモニタリングを行い、放課後等ディサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		5				・6か月以内に計画書の見直しを行っていきます。
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか		5				・ガイドラインを用いて、基本的な取組み等に対する共通認識が行える場を設けていきます。

関係機関や保護者との連携	㉔	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5				・管理者や児童発達支援管理責任者以外にも、担当にふさわしい職員が参加できるようにしていきます。
	㉕	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5				・必要に応じて、地域連携を踏まえた情報共有を行います。
	㉖	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4		1	・現在対象者がおらず、必要になれば整えられるよう対応する。	・児童が在籍している学校の担任や関係機関との連絡体制を整えていきます。
	㉗	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4		1		・担当の相談員さんと情報共有を図っています。必要な情報については事業所から連絡していきます。
	㉘	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5				・必要に応じて、情報共有を図っていきます。
	㉙	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5				・必要に応じて、情報共有を図っていきます。
	㉚	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2		3	・まだ事例がなくわからない事が多いが感染症の蔓延がおさまったこともあり今後取り入れていきたい	・地域交流を含めたイベントの企画を行います。
	㉛	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	5				・協議会への参加を行います。
	㉜	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5				・自宅送迎時やHP受診後の結果、学校面談の様子について確認していきます。
	㉝	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4		1	・保護者から相談があった場合など個別に対応している。	・必要に応じて対応などの提案やアドバイスを行っています。
保護者への説明責任等	㉞	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5				・契約時にご絶命していますが、不明な点がある際は再度ご説明していきます。
	㉟	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5				・ご相談があった際は対応していきます。適切な支援、助言となるように職員間で情報の共有を行います。
	㊱	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2		3	・コロナ過により実施出来ていない。 ・積極的に取り入れておらず時間や日程を決めるのが難しい。 ・コロナなどの感染症予防の観点から控えているが、状況を見ながら開始したい。	・令和5年度は積極的な保護者会の開催を行っておりません。今後は保護者会を開催し保護者同士を連携や交流を深めることができるような行事を企画していきます。
	㊲	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5				・苦情受付担当者を配置しています。苦情があった際は、苦情解決委員会を開催し適切に対応していきます。
	㊳	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5				・お便りを毎月お渡ししています。
	㊴	個人情報に十分注意しているか	5				・個人情報に沿った対応を行うと共に、データ等に関しても適切に管理していきます。
	㊵	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5				・分かりやすく伝える事ができるような配慮を心掛けていきます。
	㊶	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4		1	・感染症の蔓延を考慮し行っていないが今後取り入れていきたいと考えている。	・令和5年度は地域交流の機会は少なかったですが、今後イベントを開催し地域の方との交流の場を設けていきます。
	㊷	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5				・各種マニュアルの策定をおこなっています。今後はマニュアルを保護者に対してどのように周知していくかを検討していきます。
	㊸	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5				・年間計画に沿った訓練を行うと共に、マニュアルの見直しを行います。
非常時等の対応	㊹	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5				・虐待防止対応委員会の設置、虐待防止対応マニュアルの策定を行っています。又、虐待防止に対する研修に参加していきます。
	㊺	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5				身体拘束が必要な場合や必要と思われる対応について計画書等を用いて説明していきます。又、身体拘束等の適正化のための指針を策定し、研修機会を設けていきます。
	㊻	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5			・現在対象者がいないが、保護者に確認している。	・契約時などにアレルギーに対する確認を行っています。
	㊼	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5				・事故防止検討委員を定期的に開催していきます。又、ヒヤリハット報告等を受け、再発防止に努めていきます。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。